

第1学年A組 英語科授業案

公開会場 1 A 教室
授業者 天野万喜男

1 単元 Our *Toyokawa-Inari-Sushi* to the World (My Favorites)

2 単元の構想

(1) めざす子どもの姿

「いなり寿司を世界へ広めたい」と願い、今夏シンガポールに出店する女将さんとの出会いによって、子どもはレシピや紹介文を作成する。英語でいなり寿司を作る活動をとおして調理に関する英語を身につけた後は、レシピ集冊子作成や紹介文を映像で撮る活動へとつなげる。そして、仲間との話し合いとALTや女将さんからのアドバイスをもとに作品を完成させる。

(2) 英語科としての学び

前単元 Hello, English で、英語に親しみ、英語で学ぶ意義を実感し始めた。まだ語彙や文法事項の限られた一年生ではあるが、もっと英語で外国の人に伝えてみたいと願うようになった。未習事項をいかにカバーしながら、英語を楽しく身につけていくのが今後の課題として残っている。

そこで「豊川いなり寿司」を英語で紹介する活動に取り組む。豊川稲荷門前松屋の女将さんは、豊川いなり寿司を世界へと広げたいという強い思いをもっている。彼女の思いに共感し共に活動を進めることは子どもにとってのモチベーションとなる。必要な語彙や文法事項の習得を図る一方、地元愛知のB級グルメを海外に紹介する活動を通して、英語を学ぶ意義をさらに実感できると考えた。

経験のないいなり寿司の調理体験が重要な活動となる。外国の方に説明するには、まず自分が作るからこそ伝えられると気づくからである。食材・調理器具・調理方法・コメント等それぞれを英語にする際には、たくさんの未習語・文法事項を含むことに気づく。特に、道具の使い方を表すための前置詞の使い方や命令文によって調理方法を説明する言い回しは、今後使える有効な表現方法となる。一つ一つ身につけた表現を、調理の中で実際に使っていくことで、英語が通じる喜びを実感するだろう。この経験は、続くレシピ集作成・プロモーションビデオ（以下PV）制作で生かされる。正しい発音やイントネーションに気をつけながら表現することはもちろん、英語の幹を意識して英文を作っていく力を身につけ、アイコンタクトをカメラ目線として生かしたり、相手に伝わりやすくするためのジェスチャーを意識したりしたPV制作に取り組む。

(3) 「学んだこと」の価値を実感するためのはたらきかけ

PROSPECT の過程では、「豊川いなり寿司」を世界へ広めたいと夢をもつ女将さんと出会わせることによって、その熱い思い・夢を共有する。女将さんの豊川いなり寿司を愛するようになった経緯や、全国そして全世界へと広めたいと願う気持ちにふれさせ、子どもの心を揺さぶることで、子どもはレシピ集冊子作成やPV制作までの見通しをたてる。

PROGRESS の過程では、外国の人に伝えるために自分たちで調理体験をして英語を身につけようと考えた子どもに、グループごとに必要な英語をまとめ、共有化を図るよう促す。身につけた英語で調理できたときの喜びは子どもの追究に勢いを生む。図説入りで相手に伝わりやすいレシピ集を考えたり、PVで調理手順を示したりして、より伝わりやすい工夫を考える際には、実際にレシピ集やPVを試聴することで、見聞きする相手を意識した作品作りを行えるようにする。

PROCEED の過程では、ALTがレシピ集を見て調理できるか、PVが外国の人にも伝わりやすいかを評価してもらおう場を設ける。ALTからの太鼓判をもらった作品を女将さんに託した子どもは、シンガポールでの評価を心待ちにしながら、新たなB級グルメ紹介や身近な外国の方への配布を行う。

単元を終えても、自信作のレシピ本やPVの外国の方への配布や、さらなるB級グルメのレシピ本の作成などに取り組み、英語をもっと使いたいと意欲をつなぐ子どもに育っていることを願う。

4 単元構想表 (15時間完了)

【第9時終了時】

想定される行動と はたらきかけ	□ 思い・考え	□ 願 望	□ 「学んだこと」	教科で重視する力
英語を初めて勉強した。相手に英語が伝わるのは楽しい	料理の BINGO は楽しかった。もっと食べ物の英語を知りたい	英語は覚えることが多くて難しい。でも、がんばりたい		
<p>PROSPECT</p> <p>① 豊川いなり寿司を世界に広めたいと願う女将さんとの出会いの場を設定する</p>	<p>① 食べ物のことで英語を使ってみたい 1~2時</p> <p>女将さんの思いはすごい。私たちにできることは何だろう</p> <p>レシピ集や PV を作ってシンガポールへ持って行ってもらおう</p> <p>まずは自分たちで英語でいなり寿司を作ることが必要だ 3~7時</p>			
<p>PROGRESS</p> <p>② ALTによる調理のための英語チェックの時間を設ける</p>	<p>② 日本語でレシピを教えてもらおう</p> <p>食材や器具等英語にしなければいけない</p> <p>「～しましょう」は命令文だ</p> <p>手順ごとにまとめる必要がある</p> <p>同じ日本語でいくつかの英単語がある</p> <p>Let's ~. でなくても伝える文になるぞ</p>			<p>☆ Grammatical competence</p> <ul style="list-style-type: none"> どのような表現や語彙が必要かを挙げて、この後随時補う
<p>身につけた英語をもとに外国の方に伝えるための作品作りを始める</p>	<p>みんなで協力して英語で調理することができたし、英語を使う自信も少しついた。今回身につけた英語をもとにして、外国の人にもわかりやすいレシピ集やPVを作るぞ</p> <p>外国の方にもわかりやすい工夫をした作品を完成させたい 8~12時 (本時10時)</p>			<p>☆ Grammatical competence</p> <ul style="list-style-type: none"> 前単元で学習した英語の幹を使った表現を復習する
<p>③ 日本語と英語のレシピ集やPVを参考資料として用意する</p>	<p>③ どんな工夫をしていけばいいのか</p> <p>正しい英文を作ろう</p> <p>レシピ集配布、ポスター掲示、創作いなり寿司紹介をしたい</p> <p>PVを作成し、出店ブースの前で上映してもらおう</p> <p>命令文の他、How about ~?も紹介文には使う</p> <p>いなり寿司の歴史やヘルシーであることも盛り込もう</p> <p>オーバーリアクションをすると伝わりやすいかもしれない</p> <p>何度も英文を練習してすらすら言えるようにしたい</p> <p>絵や写真を使うことで、外国の人に伝わりやすくなる</p> <p>カメラ目線やジェスチャーを大事にして撮影しよう</p> <p>伝わるかどうか、町へ出て外国の方に説明してみよう</p>			<p>☆ Strategic competence</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手の言っていることに対して、うなずきながら聞いたり簡単な英語での相づちが打てるようにしたりする <p>☆ Discourse competence</p> <ul style="list-style-type: none"> 効果的に英文を羅列し、伝わりやすくする
<p>完成に向け作品を外国の方に見せる</p>	<p>英語で伝えるには、正しい発音はもちろん、アイコンタクトやジェスチャーを入れ、伝わりやすくするための工夫が必要なんだ</p> <p>外国の方に見てもらいたい 13~15時</p>			<p>☆ Sociolinguistic competence</p> <ul style="list-style-type: none"> 仲間の意見を聞き、自分の表現活動に生かす アイコンタクトやジェスチャーに重点を置いて伝えられるようにする
<p>④ ALTや女将さんから評価を受ける場を設定する</p>	<p>④ ALTはレシピ集をもとにいなり寿司ができた</p> <p>ジェスチャーを効果的につけるとみんなの目をひく</p> <p>ALTは私たちの発音をほめてくださった</p> <p>きっとシンガポールの方にも通じるはずだ</p> <p>PVの出来映えを女将さんにほめてもらった</p> <p>シンガポールでも通じたか、女将さんから感想をもらいたい</p>			
<p>英語が伝わった喜びを自信に新たな活動につなげる</p>	<p>英語を伝える際は、相手の立場に立って表現していくことが大切だ。豊川稲荷ずしが世界へと広がっていく感じがした</p>			
<p>苦労したけど相手に通じる。喜んでもらえることはとってもうれしい</p>	<p>他のB級グルメについて調べ、レシピ本や紹介冊子を作りたい</p>	<p>たくさんの英語を身につけた。もっと習って使えるようにしたい</p>		

3 本時の構想 (10/15)

(1) 授業前の子どもの姿

女将さんがシンガポールで出店する際に使う英語を、すべて自分たちの手で作りあげようとそれぞれの分担を進めてきた子どもは、より相手に伝わりやすい作品の完成に向かっていてる。

(2) 展開 (50分)

はたらきかけ	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 15px; display: inline-block;"></div> 思い・考え <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 15px; display: inline-block;"></div> 願 い <div style="background-color: #cccccc; width: 40px; height: 15px; display: inline-block;"></div> 学んだこと </div>
<p style="text-align: center;">シンガポールのお店に役立つものになっているか見直したい</p> <p>① 全体で試食グループのスキットを見る場を設定する ↓ 気づいたことをメモしながらみることで、ポイントを絞った意見を出せるようにする</p> <p>② どの場面をどう改善していったらよいか実演して見せるよう促す ↓ 発音・発声を行ったり、アイコンタクトやジェスチャーに気をつけたりしてスキットを練り上げていく</p> <p>③ 相手に伝える表現の仕方について悩む子どもの意見を取り上げる ↓ 本時の話し合いをもとにして、自分のグループの作品に生かせる点を見いだす</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> シンガポールのお店に役立つものになっているか見直したい </div> <p>① 女将さんがシンガポールで実際にいなり寿司を売る際の英語を考え、スキットにした。みんなの感想を聞きたい。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin: 10px 0;"> <div style="text-align: center;"> <p><正しい発声・発声について></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;"> 通じるとは思うけど、もう少し大きな声の方がいい </div> <div style="font-size: 2em;">⇔</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;"> あまりに大きな声は聞き取りにくい。適切な声でいい </div> </div> </div> <div style="text-align: center;"> <p><アイコンタクト・ジェスチャーについて></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;"> 笑顔で接客していて印象がいいが、もっと相手の目を見て言うべきだ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;"> 外国の人はオーバーアクションだと聞いた。もっと大ききな方がいい </div> </div> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 発声がきれいでも、聞き取れなかったら意味がない。適切な大きさでできるよう練習して女将さんに伝えるべき </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 外国の人はアイコンタクトを大切にすると聞いた。より興味をもってもらうためのジェスチャーも考えたい </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 見る相手を意識した適切な声の大きさを気をつけるべきだ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 話を実際に聞く人のことを意識した振る舞いを心がける必要がある </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> ぼくたちのブローシャーグループには発声・発音はないけど、現地で女将さんに気をつけてもらえるよう伝える </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> チラシやブローシャーを渡す際にも、アイコンタクトを意識した方がいいと女将さんに伝えたい </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 女将さんも覚えるのが大変なので、グループで持ち寄って、ポイントをまとめる </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 私たちのグループはポスターを作るだけでなく、見る側に立った作品になるよう、もう一度考え直してみる </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 相手を意識した発音・発声、そしてアイコンタクトやジェスチャーをうまく取り入れた作品作りが大事だ。女将さんに正しく伝えるためにも、正しく発音・発声できるようにもっと練習しなければならない。そして、完成した作品を渡すときに、アイコンタクトやジェスチャーを大事にすることを女将さんに伝えるぞ </div>

(3) 本時における「学んだこと」を行動につなげる子どもの姿

正しい発音・発声、アイコンタクト・ジェスチャーなど相手により伝えるための視点を出し合い、その大切さを再認識した子どもは、自分たちのグループの作品づくりに生かそうと自分たちの作品を修正する